

ベニザケ陸上養殖成功



陸上養殖に成功したベニザケを披露する（左から）渋谷、伊藤、平野の各氏

情報通信技術（ICT）などを活用したベニザケの陸上養殖に取り組んでいた「いちい」（福島市）、NTT東日本（東京都）、岡山理科大の3者は20日、通常より短期間での成長を実現させるなど養殖の実証試験に成功したと発表した。3者は商業用のベニザケ陸上養殖の成功は世界初としている。

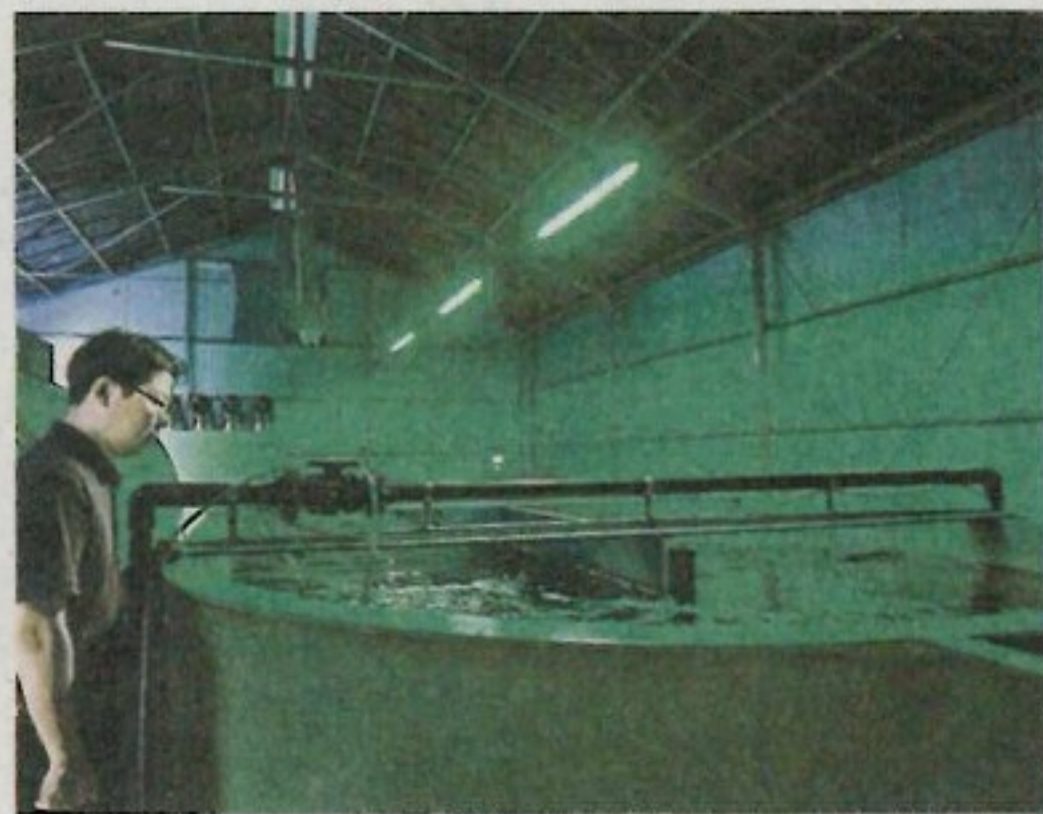
きょうから3日間

福島で試験販売

21日から3日間、福島市の「ICHI'SロシナンテMARKET福島西店」でベニザケの刺し身、すしなどを試験販売する。今後は県内の市町村との連携拡大をはじめ、視野に本格的な

事業化に向けた生産拠点づくりや販売体制の強化などを進める。

3者は2022（令和4）年1月から市内のいちい本社敷地内でベニザケ養殖の実証試験を開始。同大が開



陸上養殖に成功したベニザケ養殖場―福島市・いちい本社敷地内

魚に成長させることに成功した。

いちいは今後、川俣町の拠点などでもベニザケの育成に力を入れる。商品として本格的に販売し、店舗での売り上げに関するデータなどを集めて今後の生産拡大も目指す。

発表記者会見は20日、福島市のいちい本社で開かれた。出席した、いちいの伊藤信弘社長は「地元産の魚で地域に貢献したい」、NTT東日本の渋谷直樹社長は「福島の復興に携わり新たな産業の創出を目指す」、岡山理科大の平野博之学長は「研究の成果を消費者への安定した供給に役立てたい」とそれぞれ事業の意義や今後の目標を語った。